

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育原理		大橋 伸次	講義	2	前期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格必修 保健児童ソーシャルワーカー資格必修			
学習目標	専門職である幼稚園教諭・保育士として、わが国の保育の基本や子どもの特性について学び、子どもに適切な保育を行うための基礎的な知識を身につける。また、実際の保育場面と理論をつなぎ、子どもを育む者として多角的に子どもや保育を捉え、豊かな保育実践を行うための基礎的視点を養う。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	人間を育てる	子ども観と保育観			
2	子どもとは	子どもの年齢区分、子ども観の構造と変遷			
3	保育の基本 (1)	わが国の保育の目標と保育の原理			
4	保育の基本 (1)	わが国の保育の基準と保育の原理			
5	幼稚園教育と幼稚園教育要領 (1)	幼稚園教育要領の概要と編成について			
6	保育所保育と保育所保育指針 (2)	保育所保育指針の概要と編成について			
7	保育の構造 (1)	幼稚園教育要領、保育所保育指針のねらい及び内容			
8	保育の構造 (2)	5領域の概要			
9	保育者の役割	今、求められている保育者の役割			
10	保育者の援助	保育現場における育てる者としての視点			
11	保育と環境 (1)	保育現場における保育環境のあり方			
12	保育と環境 (2)	環境を通して行う教育			
13	保育と遊び (1)	子どもにとっての遊びの意味			
14	保育と遊び (2)	遊びを中心とした保育			
15	保育展開の基礎	ねらい、内容、保育者の援助、環境構成の実際と保育の展開			
参 考 書	金村美千子編著 「保育原理 ー保育者になるための基本ー」 同文書院 2009 ミネルヴァ書房編集部編『保育小六法 2010』ミネルヴァ書房 2010 *その他の参考書については、授業中に随時紹介する。				
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	受け身ではなく、積極的な態度で臨むこと。 自己学習・学外学習:育てる者として子どもの生活を理解し、子どもの気持ちに共感し、遊びの意義について深めることを目的とした課題を提示する。				
評価の方法と時期	主に、定期試験期間中の試験(60%)、レポート(40%)により総合的に評価する。				